

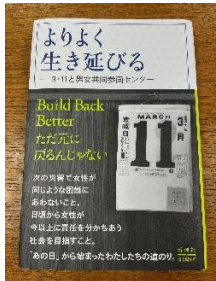


視 察 報 告 書

調査・研究テーマ	ジェンダー平等の推進について
目 的	<p>仙台市の男女共同参画推進センター（女性センター）の事業について現場の取り組みを学び、さいたま市の男女共同参画推進センターのあり方およびジェンダー平等政策に生かすため。</p>
内 容	<p>日 時：2022年5月19日（木） 14：00～15：30</p> <p>場 所：仙台市男女共同参画推進センター 「エル・パーク仙台」 宮城県仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル5・6階 「エル・ソーラ仙台」 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER28・29階</p> <p>説明者：公益財団法人せんだい男女共同参画財団 専務理事兼事務局長 遠藤 富美恵 氏 外3名</p> <p>参加者：添野 ふみ子、高柳 俊哉、土井 裕之、小柳 嘉文</p> <p>報告者：添野 ふみ子・小柳 嘉文</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>

	
<p>概 要</p>	<p>仙台市男女共同参画推進センター「エル・パーク仙台」と「エル・ソーラ仙台」の2館は、現在、公益財団法人せんだい男女共同参画財団（以下財団）が指定管理者となって管理・運営されている。</p> <p>「エル・パーク仙台」は1987年、「エル・ソーラ仙台」は2003年にオープンしている。2館の距離は近く、ともに市内中心地の複合高層ビル内にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エル・パーク仙台」は、女性と防災コーナー、セミナーホール、音楽スタジオ、創作アトリエなど市民活動スペースが主要となっており、市民活動や文化活動の拠点となっている。 ・「エル・ソーラ仙台」は、市民交流・図書資料スペース、相談室、母子家庭相談支援センターがあり、働く女性のネットワークづくり、企業での女性の活躍推進などの事業に力を入れている。 <p>この2館を運営する公益財団法人せんだい男女共同参画財団は、女性の自立と社会参画の推進を目指して国内外のネットワークの構築や、仙台の現状を調査研究し地域の実態に即した政策提言を行う専門性と、地域に根差した事業展開のできる地域性を備えた事業主体として、2001年に設立された。2021年4月1日現在、事務局長以下51名の職員で構成されている。</p> <p>財団は、自主事業、受託事業、指定管理事業の3種類の事業を行っている。以下が各事業の内容である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業は、 <ol style="list-style-type: none"> ① 男女共同参画社会の形成の促進に向けた調査研究 ② 男女共同参画に関する普及啓発事業 ③ 女性問題および男性問題に関する情報の収集および提供 ④ 女性のエンパワメントのための相談、学習支援、研修および交流促進 ⑤ 男女平等推進に向けた市民活動の支援

<p>概 要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受託事業は、 <ul style="list-style-type: none"> ①母子家庭相談支援センター事業 ②仙台市男女共同社会に関する市民意識調査 ③女性の活躍推進事業 ④DV・性暴力被害者支援市民講座 ⑤性暴力被害者支援事業 ⑦仙台市職員のハラスメントの防止等に関する要綱等に基づく外部相談窓口 ・ 指定管理事業は、 <ul style="list-style-type: none"> ①2館の施設管理運営事業 ②推進事業として、男女共同参画に関する図書等の収集および提供、各種相談の実施、市民活動の支援および交流の促進、女性と防災まちづくり拠点事業、大規模災害時における仙台市女性支援センターの運営 <p>視察で訪問した日は平日であったが、多くの市民が来館していた。</p>
<p>所 見 ・ 成 果</p>	<p>仙台市の組織機構では、男女平等を所管するのは男女共同参画課である。男女平等推進という明確な目的をもった事業の取り組みの蓄積は、仙台市民にとって一つの知的文化的な財産をつくっていると思われる。</p> <p>さいたま市の場合は、男女平等政策を所管するのは人権政策・男女共同参画課であるが、係相当の男女共同参画推進センターと、今年度、係相当になった男女共同参画相談室が実際の専管組織となっている。これではジェンダー平等推進に向けての組織として大きな課題を持っていると言わざるをえない。組織体制の強化については代表質問や一般質問でも取り上げてきている。</p> <p>センター運営については、直営か指定管理かの違いもあるので、本市と仙台市を単純に比較するのは難しいが、女性センターの規模や人的力量の差は明確である。結果として、市内の女性の状況に関わってくる。</p> <p>男女平等、ジェンダー平等の実現をめざす政策は、よりトータルな総合性が求められる。</p> <p>仙台市の財団が行っている「女性と防災の事業」や、「母子家庭相談支援事業」の取り組みを本市の女性政策でもおこなえるよう、政策提言を行っていききたい。また、男女平等推進に向けた市民活動の育成・支援事業、自主活動への支援やセンター機</p>

<p>所見 ・ 成果</p>	<p>能の拡充についても、引き続き、代表・一般質問や委員会の質問等の機会を通じて求めていく。</p>
<p>参考</p>	<p>【令和4年6月定例会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会議一般質問（土井） <p>4、男女共同参画の取組について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 組織体制の見直し・強化をについて (2) 「困難な問題を抱える女性支援法」 <p>【書籍購入】</p> <p>「パンジー～あの日うまれたもの」 v o l . 1 ～ 1 0</p> <p>「みんなのための避難所作り」</p> <p>「よりよく生き延びる」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
<p>基本政策</p>	<p>2. 市民・事業者との協働・連携を活かした公共サービス拡充</p> <p>1 3. 多様な個性・価値観と人権が尊重されるまち</p>